

(概要版)

# 小学校社会科における 群馬県の特徴を考える力を育てる 支援教材「ぐるっと、ぐんま」の作成 —県の位置、地形や産業の概要、交通網等を視点として—

長期研修員 須藤 容敏

## 主題設定の理由

【教師】

新学習指導要領により、地域社会や我が国の国土に対する理解を一層深め、主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けることが重視された。

新しく加わった指導内容

- 47 都道府県の名称と位置
- 自分たちの県の地理的位置 など

現状

【児童】

群馬県

〈実際に行ったこと見たことのない場所〉

調べる

比較する

特色を考える

学校周辺・市町村

身近な地域の学習

課題

- 具体的な学習を進めるための効果的な資料が少ない。
- より広い視野からとらえて考えさせることが難しい。

- 行ったこと見たことのない場所について調べ、比較し、特色を考えることは難しい。

群馬県の特徴を考える力を育てることやそのための支援の必要性

ねらい

小学校社会科第4学年の「県の様子」を調べる学習において活用できるデジタルコンテンツを用いて、県の特徴を考える力を育てる支援教材「ぐるっと、ぐんま」を作成し、授業実践を通してその有効性を明らかにする。

## 研究の構想

### 群馬県の特徴を考える力

三つの側面から支援する教材の作成

支援教材

「ぐるっと、ぐんま」

デジタルコンテンツ

広い視野から

視覚的に

比較を通して

デジタルコンテンツ

表・グラフ

いろいろな資料

静止画・動画

地形・産業・交通網

地図資料

地名・位置

「県の様子」の学習

着目する点に分かる

- ・場所・起伏・水系
- ・地物の配置・統計
- など

指導内容の充実  
・活用場面の例

課題

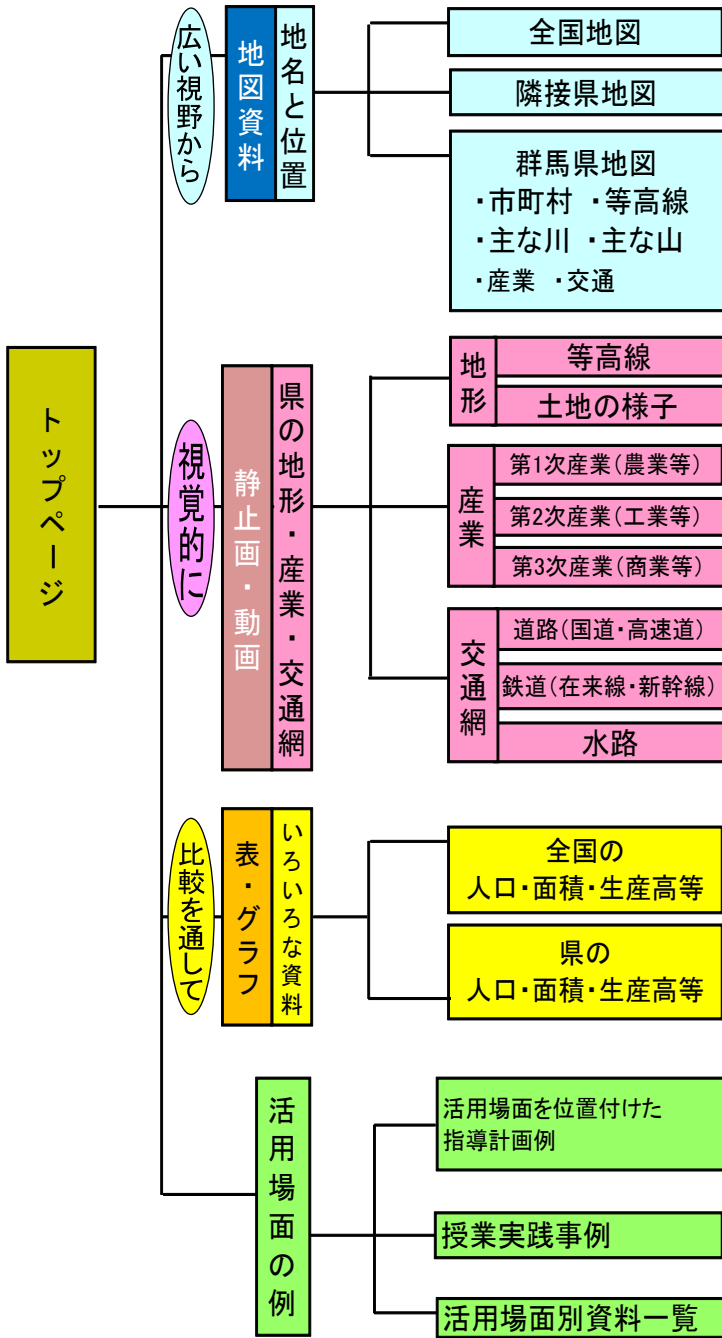


- 具体的な学習を進めるための効果的な資料が少ない。
- 広い視野からとらえて考えさせることが難しい。

- 行ったこと、見たことのない場所について考えることは難しい。



# 支援教材「ぐるっと、ぐんま」の構成



### ○地図資料 (例：全国地図)

ボタンや場所をクリックすると、都道府県名や位置が確認できる。

児童に、白地図上で位置から名前を、あるいは名前から位置を考えさせた後、ボタンや場所をクリックして確認できるように地図資料を作成する。

### ○静止画・動画 (例：地形)

関連付いた場所をクリックすると、その様子が静止画や動画で見られる。

### ○静止画・動画 (例：交通網)

県内各地の静止画や動画を撮影して準備し、地図の中に関連付けて、児童が行ったことのない場所の様子を実感できるように作成する。

### ○活用場面の例

活用場面の例  
群馬県の様子に関心をもち、地理的位置や形、地形や主な産業の概要、交通網、主な都市の位置などについて、日本地図や県の地図を活用し、白地図にまとめて調べ、群馬県の特徴を考える。

○社会的現象への関心・意欲・態度 県全体の様子に関心をもち、地形や産業、交通の様子などについて調べようとする。  
○社会的思考・判断 地形と土地利用、交通などの特色を考えることができる。  
○観察・資料活用技能・表現 地図、立体地図、案内、統計的資料を活用し、白地図などにまとめることができる。  
○社会的現象についての知識・理解 県内全体の地形、主な産業の概要、交通網の様子、主な都市の位置などに見られる特色を理解することができる。

時	ねらい	活用場面	デジタルコンテンツの分類	社会的現象への関心・意欲・態度				社会的思考・判断				観察・資料活用技能・表現				社会的現象についての知識・理解								
				課題提示	動機付け	比較	体験代行	モデル提示	説明資料	反復・定着	課題提示	動機付け	比較	体験代行	モデル提示	説明資料	反復・定着	課題提示	動機付け	比較	体験代行	モデル提示	説明資料	反復・定着
4	等高線の意味を理解し、群馬県の土地の様子について、高さごとに色を分けて表現する。	○等高線地図を作成する。	地図資料	「等高線地図」																				
5	群馬県の地形の様子に見られる特色を考える。	○地形の様子に見られる特色を考える。	静止画・動画	地形 山 川																				
6	地形との関係から産業の概要に見られる特色について考える。	○産業の概要に見られる特色を考える。	静止画・動画	土地利用																				
7	群馬県の産業の概要に見られる特色についての考えを深める。	○資料を比較して、特色の理解を深める。	表・グラフ	土地利用地図 いろいろな資料																				

支援教材「ぐるっと、ぐんま」を教師が活用しやすいように、活用場面の例を作成する。

### ○表・グラフ (例：農作物の生産)

群馬県の農作物の作付面積

群馬県の農作物の生産 全国順位

比較したい資料のボタンをクリックし、並べたり、拡大したりして見られる。

人口、農作物の作付面積などの資料を準備し、群馬県の特徴を具体的な数字等に注目して、比較を通して考えられるように作成する。

# 授業実践

## <広い視野から>

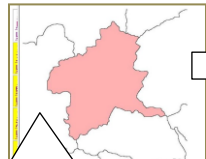
第1時

「ぐるっと、ぐんま」  
【地図資料】☆全国地図

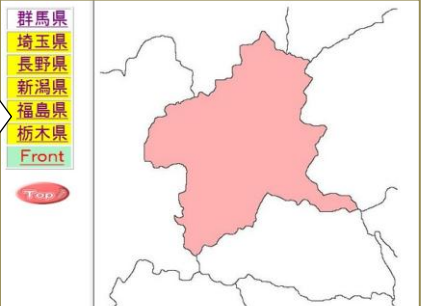
都道府県名や位置を考える場面で活用!



児童は、  
投影した地図の上から  
方位を表すシートを重ねて見たこと  
で、方位が理解しやすくなった。



フレームを左に寄せ、  
隣接県名のボタンを隠  
しておくことで、児童の  
探究心が高まった。



第2時

「ぐるっと、ぐんま」  
【地図資料】☆隣接県地図

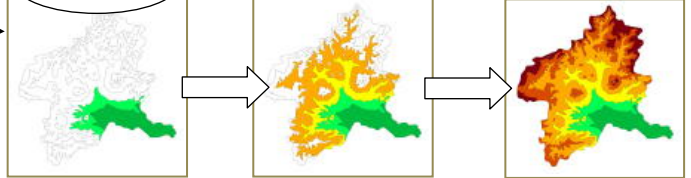
フラッシュ型教材のように活用し、日本地図から  
自分の県の位置や他県の位置、名称等を調べたり、  
方位を用いて言い表したりすることを支援した。

等高線地図を高さごとに段階を追って表示し、  
県の土地の高さの違いを気付かせやすくすると  
ともに、色塗りの作業がやりやすいようにした。

第3時

「ぐるっと、ぐんま」  
【地図資料】☆群馬県地図

第4時



## <視覚的に>

第5時

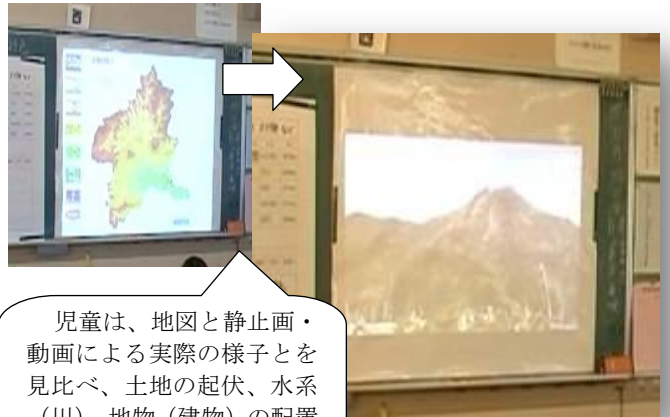
「ぐるっと、ぐんま」  
【静止画・動画】☆地形・等高線

地形の様子に見られる特色を考える場面で活用!

第6時



前時に作成した等高線地図とコンテンツの等高線地図を  
見比べ、山、川、建物の観点から実際にどんな様子なのか、  
静止画や動画で見ながら特色を考えやすいように支援した。



児童は、地図と静止画・  
動画による実際の様子とを  
見比べ、土地の起伏、水系  
(川)、地物(建物)の配置  
等へ着目しやすくなった。

## <比較を通して>

第7時

「ぐるっと、ぐんま」  
【表・グラフ】☆いろいろな資料

具体的な資料を比較して特色を考える場面で活用!

関連する資料を連続的に  
提示したり、並べて提示し  
たりして、産業の特色を表  
やグラフから具体的に考え  
やすく支援した。

児童は、統計資料の様子から  
全体と対象とを比較し、違いな  
どに着目しやすくなった。



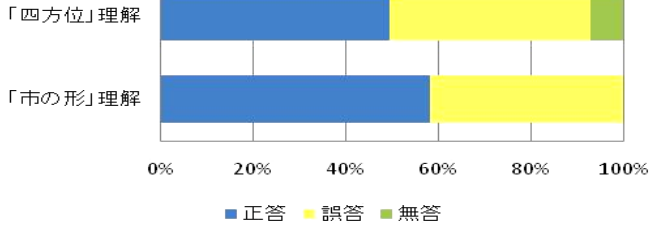
いろいろな資料	米の生産	農作物面積
	キャベツの生産	稲・面積
	工業総生産額	産業別工場数
	工業用ロボット生産	商店販売額
	乗用車保有台数	野菜全国順位
	こんにゃくも収穫県	こんにゃくもとれ高
		工場分布

## まとめ

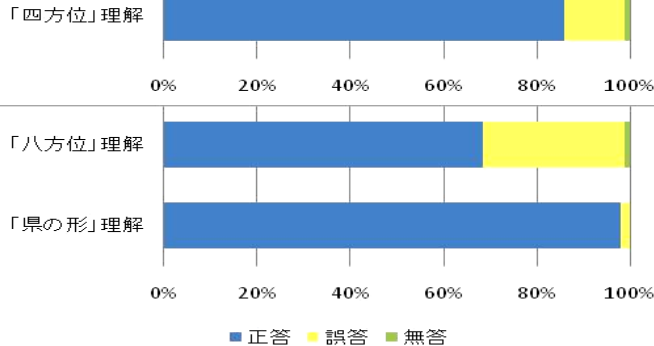
# 支援教材「ぐるっと、ぐんま」で・・・

★ 群馬県の地理的位置や全体の様子を  
**広い視野から**とらえやすくなった！

### 授業前



### 授業後



(授業実践前後の児童の実態)

### 【地図資料からの気付き】

- ・新潟県に近付くと土地が高くなる。
- ・群馬県は、北に行くほど土地が高くなっている。
- ・群馬県の土地の高さは、南東から北西に向かって高くなる。

位置や地形の様子を表すために方位や隣接県などとの関係に着目し、地理的な位置を表現する方法としての方位や全国の都道府県の位置等の理解をうまく活用して、群馬県の特徴を考えることができた。

★ 群馬県の地形や主な産業、交通網等を  
**視覚的に**とらえやすくなった！

### 【静止画・動画からの気付き】

- ・山は、丸い山、でこぼこの山、木が生えている山、生えていない山などいろいろあった。中でも妙義山は、一番複雑な様子だった。
- ・群馬県の川は、激しく流れているところや堰がある川などがある。
- ・前橋市は、山地に比べて緑が少なくて建物がいっぱいある。
- ・南東の所は町がいっぱいあって、北の所は山が見える。

(下線部は、静止画や動画を見たことによる特徴的な表現であり、特色を考えるための大きな動機付けとなった表現であるととらえた)

行ったこと見たことがない場所を静止画や動画で見るにより、全体で話題を共有することができ、場所の様子から特色を具体的に考えることができた。

★ 群馬県の特徴について、県内や全国の資料の  
**比較を通して**とらえやすくなった！

### 【表やグラフなどからの気付き】

- ・群馬県は、米や野菜の生産が多い。でも米の生産は全国ではあまり多い方ではない。
- ・群馬県は、こんにやくいもやきゅうりが全国でも1位なので、いっぱい作られていることが分かった。
- ・こんにやくいもは、群馬県と栃木県がほとんど作っている。
- ・愛知県は、自動車(の生産量)が多くて、北海道は米(の生産量)が多かった。
- ・群馬県では、工場の多い所が伊勢崎市や太田市、高崎市だということが分かった。

複数の統計資料等の比較を通して違いに気付くことができ、表やグラフの様子から特色を具体的に考えることができた。

## 成果と課題

### 成果

- 地図資料を取り入れ、群馬県の地理的位置や様子を広い視野からとらえやすくなったことで、全国の都道府県名や位置、県内の市町村名や位置などの理解が深まり、群馬県の地理的位置や地形に見られる特色を考える力を育てる支援となった。
- 静止画や動画を取り入れ、視覚的にとらえさせることにより、群馬県の地形との関わりから産業の概要や交通網等に見られる特色を考える力を育てる支援となった。
- 群馬県の特徴について、具体的な表やグラフの比較を通して特色を考える力を育てる支援となった。

### 課題

- 支援教材「ぐるっと、ぐんま」のより効果的な活用場面の提案と提示方法の工夫。
- 支援教材「ぐるっと、ぐんま」の構成や内容の吟味、充実。簡単な更新の工夫及び、より一層の使いやすさと汎用性への対応。

問合せ先 群馬県総合教育センター

担当係：教育情報推進係

0270-26-9215 (直通)